

平成28年2月15日

産地間連携等推進に関する検討会用アンケート(とりまとめ)

1 残留農薬関連

(1) 海外向け青果物のための防除暦の作成の有無
作成している地域

都道府県名等	国名	青果物名:
愛媛	台湾	ハウスみかん、露地温州・中晩柑、太天柿
大分	台湾	梨
山形	台湾等	さくらんぼ
青森	台湾、香港	りんご
熊本	台湾、米国	梨
鳥取	台湾、米国	梨
静岡	タイ	温州みかん

作成していない理由:

- 出荷量(輸出)が少量であるため。
- 国内販売が主力であるため(輸出金額が国内販売量の1%未満のため)
- 海外向けの出荷数量も少なく、国内需要の外観品位重視の栽培体系となっている。
薬剤によっては果実外観維持のため変更ができない(代替え農薬がない)。
ただし、梨のみは台湾登録農薬を配慮して防除体系を考えている。

(2) 自主検査(残留農薬分析)の有無

① 実施している場合は、

青果物名	対象農薬名
ハウスみかん、露地温州・中晩柑、太天柿等	一斉分析
ユリネ	約300項目
りんご、もも	200成分
主要品目(国内基準)	200成分
主な出荷団体のうち、全農あおもりではりんごを対象として実施 (検査センターを設置)	
みかん: カナダ	ジマンダイセン・スミチオン
梨: 台湾/米国 ※輸出前に産地で当該国に登録の無い薬剤が残留していないか自主検査を実施している。	
台湾、米国 向けの梨	台湾向け41項目、米国向け 7項目
温州みかん	不明

国内販売向けの自主検査のみ。 自主検査は一斉分析で300成分以上

② 実施していない場合はその理由:

- ・台湾向けの防除暦で栽培し、防除履歴も確認しているため。
- ・防除暦は出荷先国より要請がある都度産地に問い合わせし、産地で作成している場合その情報を頂いている。
- ・基本的に国内向けも含めて、きりがないので農薬分析はしていない。

(3) 残留農薬等(重金属を含む。)で輸出できなかった事例の有無(27年中又は最近)

① ある場合は、

国名:台湾

青果物名:かんきつ イプロジオン 検出値:0.01~0.03ppm(自主検査後、輸出を自粛)
基準値:0.01ppm

ユリネ :フルアジナム 検出値:0.95ppm 基準値: 不検出

温州みかん :ジノテフラン 検出値:0.03ppm 基準値:不検出

温州みかん : トルフェンピラド 検出値:0.03ppm 基準値:0.01ppm

米国

青果物名:みかん・梨

平成 21 年 みかん 農薬等の種類:ベンレート 検出値:0.02ppm
基準値:0.01ppm

平成 27 年 梨 農薬等の種類:ダニゲッター 検出値:0.064ppm
基準値:0.01ppm

米国向け二十世紀梨にてスピロメシフェン 0.064ppm(基準値無し)を検出。

② 輸出できなかった事例の後にとった対策があれば記載してください。

(例:自主分析の実施、防除暦の作成等)

- ・台湾向けモデル防除暦の作成及び実証試験
- ・検出不合格事例のある農薬を使用しない栽培の要請
- ・自主分析の実施
- ・みかん:代替え薬剤(トップジン)の米国での登録認可待ちで、現在は輸出を見合わせている。
- ・梨:次年度当該薬品の使用はしないことで産地と検討中。
- ・28年度より、該当成分を含む剤(ダニゲッター)を防除暦から削除。

③ 不合格事例がない場合は、対策の有無等との関連を記入してください。

- ・台湾向け防除暦で栽培しているため。(掲載農薬は毎年見直しを実施している)

2 青果物の品質問題

(1) 例年果実が弱くなっている。(かき、りんご等)

○ 生理障害が年々一律的に増加している傾向は見受けられない

ただし、年ごとの気象環境による障害(内部褐変、つる割れ)の発生が増加する年もあり、出荷量や価格に大きな影響を与えることはある。

今年産については、10月上旬に発生した台風等の暴風による落果被害果及び樹上損傷

果が多い状況。しかしそのほか内部褐変、ヤケ等が多発する話は聞いていない。

- 果実品質については、例年弱くなっているとは思われないが、一昨年は夏場の日照不足・低温等で秋冬果実の体質が弱く、昨年は10月末から11月中旬にかけての高温・多雨によって体質が弱かった。(これにより国内出荷量も減少し、輸出先国での腐敗等の発生も例年より多かった)。

① そう思う場合は、

○ 青果物名:かんきつ

輸出先国:台湾、香港、シンガポール、マレーシア

輸送方法:空輸、海上運送(リーファーコンテナ)

輸送期間:4~5日程度(空輸)、1~2週間程度(海上)

○ 青果物名:梨 輸出先国:台湾

○ 青果物名:柿 輸出先国:タイ 輸送方法:海上コンテナ

輸送期間:10-13日間

○ もも、香港、船、1週間

○ 青果物名:梨

輸出先国:台湾・香港・米国等

輸送方法:リーファーコンテナによる海上輸送

輸送期間:1週間~1ヶ月半

○ 果物名:柑橘類 輸出先国:マレーシア

輸送方法:船 輸送期間:約3週間

○ 青果物名:温州みかん 輸出先国:カナダ等

輸送方法:船 輸送期間:11月~12月

② 原因として考えられる事項があれば記載してください。

(例:27年度は夏場の高温、秋の多雨等の天候不順があった。輸送方法と期間など)

- ・雨時期及び秋の多雨及び日照不足
- ・27年度は夏場の台風による果実への傷に因ると考えられる。
また、樹の高齢化が影響している可能性もある。
- ・26年度産でも同様に軟化が見られており、各年の事象というより近年の気候変動に伴う変化ではないか。
 - ・その年により、夏期から秋の収穫時まで多雨等の天候不順、病害虫の多い年は秀品率の低下や棚もちが悪い年もある。今後、輸送方法や資材等の検討も必要。
- ・樹体の老木化、異常気象の頻発による。
- ・生育期間中の気象の影響でもととの果実体質が弱い。また、船積以降の果実の温度管理、保管方法などの原因として有るのでないかと思う場合もあり。
- ・秋の多雨

③国内流通の青果物で同様の傾向の有無。

ある場合は、青果物名:かんきつ、梨 原因:②と同様

もも、原因:②と同様

青果物名:果実全般(27年産は特に)

原因:夏から秋の気象条件

ない場合の原因 : 輸送保管方法と輸送期間(時間)など

(2)混載不適事例 (かんしょなど)

青果物名複数:果物、甘藷など混載 輸送方法:船 期間:2週間

温度・湿度等の影響を与えたと思われる事項:甘藷輸送時の低温に因ると考えられる。

(3)混載優良事例 青果物名複数:20世紀梨、ブドウ

輸送方法:海上コンテナ 期間:3-5日間

温度・湿度等の事項:コンテナ温度設定+1℃程度

(4)輸出先のバイヤー等からのクレームの有無

ある場合は、クレームの内容:果実の腐敗

輸出先国:台湾、香港、シンガポール

青果物名:かんきつ

生産地:県内各地

- ・かんしょ、腐敗

輸出先国:シンガポール 青果物名:甘藷 生産地:大分

- ・各品目:腐れ、劣化、箱破損、病害、脱粒等

- ・輸出先国:台湾・香港・米国

内容:異常気象由来と思われる果皮表面のアザ、傷の指摘。

- ・クレームの内容:腐敗

輸出先国:マレーシア 青果物名:柑橘

3 価格維持問題

(1)価格低下事例 特になし

今年産についてはむしろ高値基調で推移している。

原因としては、キズ果発生が多いことから上実が少なく、産地市場で上実奪い合いの形となり産地相場が高騰しているため。

価格低下なし:ただし、韓国、中国産の安価な梨にシェアを奪われる事例が出てきている。